

学校教育とジェンダー

11/21開催

「ジェンダーに配慮したカリキュラムの実践」
講師: 奥野 佐矢子さん(神戸女学院大学准教授)

※講座の詳細は、当センターHP「教職員さんかく講座」レポートをご覧ください。

隠れたカリキュラム (hidden curriculum)

学校などにおいて明示されることなく
暗黙の内に伝達される知識や規範のこと。

ジェンダー平等教育の視点※1

＜ジェンダー・バイアスの例＞

学校の物理的環境

- ・男女別(男子が上)の名簿
- ・靴箱、ロッカー等の男女別(男子が先)の配置
- ・集会時、教室等での男女別整列
- ・名札や上履き等の性による色分け
- ・男女別制服

Check&Action

その区別は本当に必要だろうか？分けることに合理的な理由はあるのだろうか？
児童生徒に対して、性別による偏見をもって接していないだろうか？

※1(多賀太「性の多様性とジェンダー平等の視点に立った教師教育をめざして」全国私立大学教職過程協会第39回研究大会、第8分科会配布資料、2019)

ジェンダー平等教育の実践

- 学校を、子どもたちが性別にかかわらず、その個性と潜在能力を伸ばしていける学習の場にしようとする試み。
- 特定の時間に特定の知識を教えれば済むものではない。教育・学習活動のあらゆる場面、あらゆる時間に関わる。
- 男女の役割の固定化につながる学校内の様々な慣習を解消していくためには、まず教師が自らのもつジェンダー・バイアスに自覚的になることが必要。



私たちの周囲で、ごく日常生活の中にジェンダー・バイアス(社会的・文化的な性差別や偏見)が潜んでいます。教師の固定的性別役割分担意識やジェンダー・バイアスが進路指導にも影響していたり、平等に見える学校の中にも明らかな不均衡があることに気づき、明らかにしていく作業が必要です。

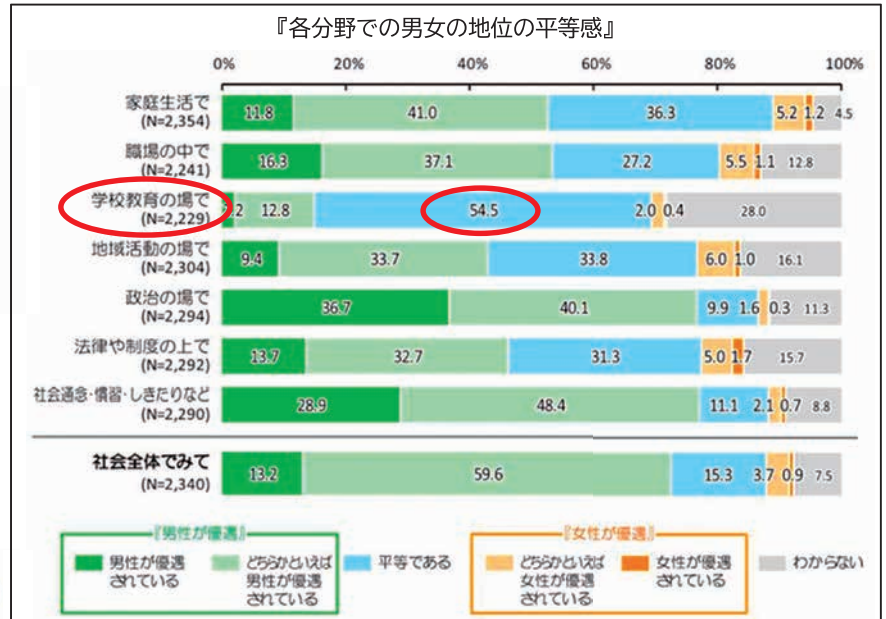
センター職員による 出前授業をぜひご利用ください

県内小・中・高・大学の学生・教員を対象に、ニーズに合わせて「よりよいパートナーシップ」、「デートDV防止」などについての授業を行います。詳細は、滋賀県教育委員会事務局生涯学習課「しが学校支援センター」HPでご確認いただくか、当センターまでご連絡ください。



滋賀県が行った「令和元年度男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査」では、『各分野での男女の地位の平等感』において、学校教育の場が最も男女平等であるという結果が示されました。

11/21開催の令和元年度「教職員さんかく講座」では、学校におけるジェンダー平等実現に向けて、教職2年次の教員を中心に学びました。平等であると思われる教育の場でもジェンダー規範があり、無意識のジェンダー・バイアスがかかっていることを気づききっかけになりました。



教職員自身の言動による

- ・教職員組織における性別役割分業
- ・男子には「くん」、女子には「さん」
- ・児童生徒の性別によってほめ方や叱り方の基準が異なる
- ・男女のステレオタイプに沿った進路指導
- ・一人ひとりの個性を見るより、「このクラスの女子は・・・、男子は・・・」という見方にとらわれていないか

G-NETしがフェスタ2019

令和の新しい時代を、性別にかかわらず、共につながりあうことで、誰もが笑顔で過ごせるようにという思いを込め、しがWO・MANネット登録団体をはじめ、さまざまな団体・企業が日頃の活動を発表・交流し、広く県民の皆様と共に「男女の自立と共同参画」について観て、聞いて、ふれて、考えることができました。

G-NETしがフェスタ2019テーマ

笑顔で わくわく (和く輪く) 新時代



ステージ発表、講座、体験、啓発掲示、マルシェなど、どの団体も工夫を凝らした、学びあり楽しみありの企画をし、来場者の皆様に喜んでいただきました。本年度は、各団体がそれぞれのブースに男女共同参画を進めるために日ごろ活動していることや、考えていることを掲示し、会場全体で啓発を行うことができました。

オープニングでは、話花場さんの温かい演奏、クローニングはあかね児童合唱団さんのきれいな歌声で盛り上げていただきました。



しがWO・MANネット講座

県立男女共同参画センター“G-NETしが”は、女性も男性も互いを尊重しつつ個性と能力を発揮し、あらゆる分野の活動に対等に参画できる男女共同参画社会の実現をめざし、さまざまな事業を実施しています。

しがWO・MANネット講座は、センターと「しがWO・MANネット登録団体」がそれぞれの持ち味を活かし、協働して開催する県民向け講座とし、男女共同参画実践への取組を一層進めることをねらいと開催しています。



本年度は、防災・料理・コミュニケーションスキル・教育など、様々な内容で全12回の講座を開催しました。各登録団体の専門分野で男女共同参画を学ぶことができ、どの講座も参加者が講師の話に聞き入り、有意義な時間となりました。